



山崎賢治 議員

5期目の政権運営について

町長 公約の実現を目指す

選挙公約に掲げた項目ごとの具体策を伺う。

町長

○国営地下ダムの完成に向けた取り組みについては、「矢護仁屋（ヤグニヤ）地区」「第二田皆地区」「西原（ニシバル）地区」を集約し、「田皆・矢護仁屋地区」として平成27年度に前倒し着工が出来る様に事業調整を行っている。また、「正名地区」を前倒し着工の調整を行い、以前から畑かん要望のあった「第二住吉地区」を「正名地区」に編入し計画書を策定している。

○学校関係施設の耐震化対策等については、田皆小、住吉小体育館が耐震力不足に該当しており、早急に対処する予定。他の公共施設

の再整備については、施設の劣化状況調査等を行い総合的な判断をしたい。

○幼・保一元化の推進については、国の制度などを活用しながら学校教育、保育を充実させる為の環境づくりに取り組んでいきたい。

○奄振事業については、「交付金化」の確保により、農水産物の流通コストの低減化と航空航路運賃の低減化に取り組む。

○「町営C団地」の全面建て替え整備については、年次的に計画し平成26年度より29年度にかけて実施、全体で26戸計画し現在推進中である。

○防災・消防無線関係のデジタル化対応については、本体化工事に関しては、26年度完了予定であり、全て

の事業終了は27年2月の予定である。

○保健・福祉対策については、国の動向も注視しながら事業選択し実施する予定。

観光振興対策について。群島の世界自然遺産登録に向けての対策を伺う。

町長 奄美群島広域事務組合と連携した「エコツーリズム推進（※3）」を展開しており、登録認定制度の確立や全体構想の認定を目指す取り組みを推進している。

※3 エコツーリズム

地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全につながるべく取り組み（環境省HPより）

観光連盟対策としては、要求書を判断し何らかの手だてを検討している。住吉暗川・高倉前の公衆用トイレの設置については、26年度実施に向けて要望書を県へ提出済。

住吉貝塚整備事業での休憩場所やトイレの計画については26年4月以降に基本方針を決定する予定である。

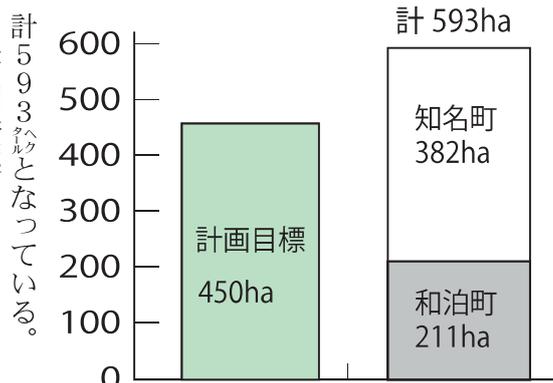
住吉武道館の修復工事について。

町長 財政担当課と協議し、今議会の補正予算で計上した。内容については、屋根、床張替、雨戸改修、サッシガラス取替等である。住吉自立自興館内の整理等については、字で対応してもらいたい。

さとうきびの振興策について伺う。

町長 平成25・26年度の収穫見込みについては、収穫面積1205.76畝、収穫量5万1069トを見込んでいる。

新植夏植の申告面積は、計画目標450畝（両町合わせて）
 1 泊町 211畝
 2 和泊町 239畝
 3 名町 38畝
 4 泊町 2畝
 5 合計 450畝



26年度の「さとうきび増産基金」の継続については、県や国に増産基金事業の継続を要請しており、町としても引き続き、事業の継続へ向けて働きかけていく。